

景観学習

県では、将来の山口県を担う子ども達に、ふるさとの美しい景観に気づき、守り、育てていくことの大切さを実感してもらうことを目的とし、平成 19 年度から小中学校における景観学習を実施しています。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、景観アドバイザーを派遣して景観学習を行わず、景観副読本を使用しての担任の先生による景観学習及び校内景観探しを実施しました。

令和 3 年度の景観学習は以下により実施しています。

■景観学習の内容■

●第 1 回：県内の主な景観等の学習（令和 3 年 7 月 7 日(水)）

- ・景観学習副読本を使用して、担任の先生による授業を実施し、景観の種類や県内の主な景観等について学習しました。

●第 2 回：五感を用いた景観のとらえ方の学習、校内景観探し（令和 3 年 7 月 15 日(木)）

- ・五感を用いた景観のとらえ方について学習した後、校内で実際に景観探しを行いました。
- ・子どもたちが見つけた景観を、それぞれがまとめ、発表しました。
- ・発表後、景観アドバイザーから講評をしました。

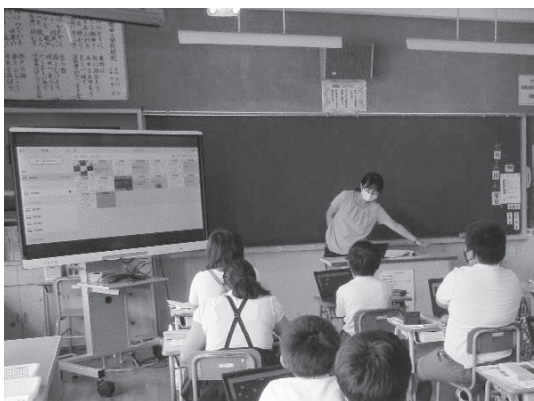
▼副読本を使用した授業



▼校内での景観探し



▼校内でたくさんの景観を発見



▼見つけた景観を発表

